

第14回 北陸銀行若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名	所属・職名	助成金額
石尾 智久	金沢大学・講師	650,000 円
研究課題名	デジタル・プラットフォームの情報提供義務に関する重層的規律の構築 ——デジタル市場の適正化のための基盤形成に向けて——	
研究の概要	<p>[研究開始当初の背景, 研究の目的, 研究の方法等について記入]</p> <p>近年、Amazon や楽天といったデジタル・プラットフォーム（以下、「プラットフォーム」と表記する。）が経済活動において大きな役割を果たしている。それにもかかわらず、現行法の条文および判例からは、プラットフォームが、どのような情報を利用者に提供しなければいけないのかは明らかでない。その結果、プラットフォームは、日本における事業展開では、ヨーロッパ諸国における事業展開と比べて、十分な情報を利用者に提供しておらず、日本では多くの紛争が実際に生じている。そこで、本研究の目的は、プラットフォームの情報提供義務を具体的に構築することにある。</p> <p>本研究は、法学にとって一般的な研究方法である文献調査を中心として実施した。さらに、国内外の研究者との意見交換を通じて、最新情報の収集にも努めた。</p>	
研究の成果	<p>[成果の具体的内容、意義、重要性及び今後の展望等について記入]</p> <p>本研究によって、フランスやヨーロッパにおいて、プラットフォームの情報提供義務に関するルールを明らかにすることができた。その際には、立法の翻訳といった表面的な検討にとどまることなく、実務上、第三者機関によって規律の実効性が担保されていることや、巨大プラットフォームは規制対象であるだけでなく、国家による規律を担う役割をも果たしており、規制主体としての側面を有しているという、わが国では提唱されていない新たな視点を獲得することもできた。</p> <p>これらの成果は、次の項目（研究成果発表状況）に記載した通り、①河上正二＝中田邦博＝鹿野菜穂子『デジタルプラットフォーム取引と消費者保護——法的規制の課題・比較法的検討』（信山社）のほか、②『比較法学』、③慶應義塾大学のプロジェクト（KGRI 2040 独立自尊 代表者：山本龍彦教授）における報告に結実している。</p> <p>③は、研究当初は予定していなかったが、報告の機会を頂いただけではなく、日本語論文及び英語論文を執筆する依頼を受けるに至った。同プロジェクトでは、海外の研究者も多く関与しており、世界的に著名な研究者に名を連ねて、本研究助成の成果を発信する予定である。今後は、プラットフォーム規制の将来像に関する日本モデルを世界に発信し、この分野における第一人者となることを目指す。</p>	

研究成果発表状況	<p>〔雑誌論文，学会発表，図書，新聞掲載，研究に関連して作成したWebページ等について記入〕</p> <p>①2022年6月10日に、河上正二＝中田邦博＝鹿野菜穂子『デジタルプラットフォーム取引と消費者保護——法的規制の課題・比較法的検討』（信山社）に掲載する原稿を提出した（現時点では未公開）。同書は、日本を代表する消費者法学者と民法学者の編集によるものである。</p> <p>②2022年10月25日に、シンポジウム「フランス法におけるデジタル・プラットフォーム」におけるクレール＝マリー・ペグリオン＝ジカ准教授（パリ第2大学）による講演原稿の翻訳および通訳を担当した。同准教授は、フランス最高峰の大学に所属しており、講演内容の水準も高く、シンポジウムは大盛況であった。その様子は、早稲田大学比較法研究所のホームページで公開されている (https://www.waseda.jp/folaw/icl/news/2022/11/21/8443/)。なお、講演原稿の翻訳は、『比較法学』への掲載が確定しており、2023年度に刊行予定である。</p> <p>③2023年1月26日に、慶應義塾大学のプロジェクト（KGRI 2040 独立自尊）において、「フランスにおけるデジタル・プラットフォーム事業者の法的位置づけ——規制対象としての側面と規制主体としての側面の両面性——」というタイトルで研究成果を報告した。本報告を踏まえた研究成果として、邦語・英語の両方での論文を執筆し、慶應義塾大学出版会から出版されることが確定している。</p> <p>以上の通り、国内的にも、国際的にも、本研究助成の成果を出すに至っており、今後も研究を継続する予定である。</p>																	
経費の執行状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="384 1003 746 1077">費目</th> <th data-bbox="746 1003 1203 1077">事項 (主な使用事項を記載)</th> <th data-bbox="1203 1003 1544 1077">執行額(円) (費目毎総額を記入)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="384 1077 746 1144">物品費</td> <td data-bbox="746 1077 1203 1144">iPad、書籍費、等</td> <td data-bbox="1203 1077 1544 1144">606,040円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1144 746 1211">旅費</td> <td data-bbox="746 1144 1203 1211">東京へ出張費(研究会への出席)</td> <td data-bbox="1203 1144 1544 1211">43,960円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1211 746 1473">人件費・謝金</td> <td data-bbox="746 1211 1203 1473">なし(研究助成の申請時には、謝金を計上していたが、早稲田大学のシンポジウムといった、フランス人教授の来日に何度か接し、その際にヒアリング調査を無料で実施することができたので、謝金は不要となった)。</td> <td data-bbox="1203 1211 1544 1473">0円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1473 746 1597">その他</td> <td data-bbox="746 1473 1203 1597">なし</td> <td data-bbox="1203 1473 1544 1597">0円</td> </tr> </tbody> </table>	費目	事項 (主な使用事項を記載)	執行額(円) (費目毎総額を記入)	物品費	iPad、書籍費、等	606,040円	旅費	東京へ出張費(研究会への出席)	43,960円	人件費・謝金	なし(研究助成の申請時には、謝金を計上していたが、早稲田大学のシンポジウムといった、フランス人教授の来日に何度か接し、その際にヒアリング調査を無料で実施することができたので、謝金は不要となった)。	0円	その他	なし	0円		
費目	事項 (主な使用事項を記載)	執行額(円) (費目毎総額を記入)																
物品費	iPad、書籍費、等	606,040円																
旅費	東京へ出張費(研究会への出席)	43,960円																
人件費・謝金	なし(研究助成の申請時には、謝金を計上していたが、早稲田大学のシンポジウムといった、フランス人教授の来日に何度か接し、その際にヒアリング調査を無料で実施することができたので、謝金は不要となった)。	0円																
その他	なし	0円																